

東海農政局から感謝状授与

令和4年5月17日に愛知県豊田市の明治用水頭首工で発生した大規模な漏水事故に対して、東海農政局から排水ポンプ車の派遣要請を受け、水資源機構は排水ポンプ車及び緊急災害支援隊としての職員を現地に派遣し、緊急取水のための物的・人的支援を行いました。支援隊は、仮設ポンプの撤去・再設置、破損したポンプ・ホースの交換等の維持管理を、農業用水の受益地域において巡回点検、空気弁の漏水対応等を行いました。このような支援活動について、5月18日に農林水産省東海農政局から水資源機構へ感謝状が贈られました。水資源機構として今後とも災害や事故など不測の事態に備えた体制整備を強化するほか迅速な支援体制の構築に努めてまいります。



創立記念日5月1日にライトアップ

前身の水資源開発公団の創立記念日である5月1日に、ダムが所在する水源地域の方々への感謝とともに、ダムが担う役割の大切さに広く関心をいただくため、水資源機構が管理する5つのダム(草木ダム、比奈知ダム、一庫ダム、早明浦ダム、大山ダム)でライトアップを行いました。当日は時間限定でしたが、夜空に浮かぶ幻想的なダムの姿を皆様にお楽しみいただけたかと思えます。興味がありましたら、この機会にダムに足を運んでみてはいかがでしょうか。



総合水防演習に排水ポンプ車と職員23名が参加



水資源機構では、洪水、渇水や地震などの自然災害等による被災に備え、排水ポンプ車、可搬式浄水装置を配備し、機構が管理する施設が被災した場合はもとより、災害対策基本法に基づく指定公共機関として、被災地への支援活動を行っています。毎年、都府県をまたがる大規模な河川流域で開催される水防演習に参加しており、5月27日に埼玉県深谷市内の利根川河川敷で開催された利根川水系連合・総合水防演習では、排水ポンプ車による排水訓練を国土交通省と連携して実演するとともに、機構が行う災害支援活動について日頃の訓練の成果を紹介しました。



農業農村整備事業広報大賞 優秀賞を受賞

「水資源機構設立60周年関連広報活動」について、「独自の課題とユニークな活動を実施した」ものとして、PR動画の放映、各事務所での多様な活動など一連の広報活動が水の安定供給に寄与したことが評価され、令和4年度農業農村整備事業広報大賞優秀賞を受賞しました。

